

平成30年11月30日  
総合政策局物流政策課

## 輸送と荷役の分離が、物流の「ムダ・ムラ・ムリ」を改善します！ ～「スワップボディコンテナ車両利活用促進に向けた検討会」第2回の開催～

国土交通省では、スワップボディコンテナ車両の全国的な普及に向け、相互利用を可能とする標準的な仕様や効率的な管理、運用方法等に係るガイドラインの本年度中の策定を目指し、検討を進めています。12月4日に開催する第2回検討会では、乗務員教育やスワップボディコンテナ車両が普及している海外事例の報告等のプレゼンテーションを行った上で、ガイドラインの対象範囲について議論します。

### スワップボディコンテナ車両とは？

- **車体と荷台を分離**することができ、**分離中に荷役作業の実施が可能**
- 輸送業務と荷役作業を分離することにより、荷待ちのムダひいてはムダな労働時間を削減し、物流の生産性向上とともに働き方改革に貢献。



【スワップボディコンテナ車両】  
(出典：国土交通省生産性革命プロジェクト(第4版))

女性活用等の  
働き方改革

荷役作業効率化  
生産性革命

稼働効率向上等  
コスト削減

- (1) 日時：平成30年12月4日（火）10時00分～12時00分
- (2) 場所：中央合同庁舎第3号館4階 総合政策局 局議室
- (3) 構成員：別紙のとおり
- (4) 議題（予定）
  - ・乗務員教育、海外事例の報告 等
  - ・標準的な仕様の対象とする範囲について 等
- (5) その他
  - ・検討会は、非公開としますが、議事1「各社の取組について」の日本トレクス(株)発表までカメラ撮影が可能です。カメラ撮影を希望される方はあらかじめ、12月3日（月）16時までに、人数、氏名、所属、連絡先を以下宛先までメールにて送付下さい。
  - ・当日9：55までに会場の入口にお集まり下さい。
  - ・議事概要、会議資料等は、後日、国土交通省ホームページにて公表する予定です。

### 【問い合わせ先・登録先】

総合政策局物流政策課企画室 東 (azuma-s2mj@mlit.go.jp)、上中 (uenaka-m2f2@mlit.go.jp)  
代表：03-5253-8111（内線53-344） 直通：03-5253-8799 FAX：03-5253-1559

## スワップボディコンテナ車両利活用促進に向けた検討会 構成員

(順不同・敬称略)

### ○荷主関係

北條 英 公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会  
J I L S 総合研究所 ロジスティクス環境推進センター長  
大谷 明 株式会社ホームロジスティクス 営業本部 輸送部マネジャー

### ○自動車運送関係

荻原 正吾 公益社団法人全日本トラック協会 役員待遇 交通・環境部長  
小森 庸史 佐川急便株式会社 輸送ネットワーク部路線課長 兼 配送課長  
前田 修 富士運輸株式会社 成田支店長

### ○自動車製作関係

林 則光 一般社団法人日本自動車工業会  
安全・環境技術委員会 大型車部会長

### ○自動車架装関係

清水 正之 一般社団法人日本自動車車体工業会 技術部長  
松田 昌万 日本トレクス株式会社 技術開発部トラック開発課 専任技師  
川本 学 日本フルハーフ株式会社 企画部 シニアアドバイザー  
小谷 和司 株式会社パブコ 標準ボディ開発部 主任  
村松 孝宣 S G モーターズ株式会社 購買部担当部長

### ○行政

伊奈 友子 経済産業省商務・サービスグループ消費・流通政策課物流企画室長  
平嶋 隆司 国土交通省自動車局貨物課長  
山田 輝希 国土交通省総合政策局物流政策課長  
多田 浩人 国土交通省大臣官房参事官 (物流産業)  
野口 透良 国土交通省総合政策局物流政策課企画室長